

2016年第6回 ユニセフ・ラブウォーク in いわて 報告

(岩手県ユニセフ協会 5月22日作成)

東日本大震災の年から始まったユニセフ・ラブウォーク。5月22日(日)、快晴の空の下、盛岡城跡公園広場をスタート・ゴールに、5キロ・10キロのコースに分かれ、途上国の子どもたちのために歩きました。参加者は、子どもたちから80代の方々まで約230名が会話をしながら、健康な汗を額にウォークを楽しみました。

県外では大館市から、県内一関市など8市・町から参加し、「昨日は運動会だった」という小学生。「始めはきつかったが、後は大丈夫だった」という女子高校生。小学生・高校生・大学生まで思い思いの足どりで参加し、参加費はユニセフ募金として、90,010円を日本ユニセフ協会に送金し途上国の子どもたちのもとに届けられます。

主催：岩手県ウォーキング協会・盛岡市ウォーキング協会・岩手県ユニセフ協会



▲大学生の元気なエールでスタート



▲盛岡市の中心部を流れる中津川遊歩道を行く



▲フィリピン DAID グループお揃いの T シャツで参加



▲ゴールでは恒例のおたのしみ抽選会

ユニセフ・ラブウォークは、健康づくりと募金活動を結びつけた運動です。参加料などをまとめて [開発途上国](#) の子供たちへ贈る慈善事業で、1965年にイギリスで始まり、「日本ユニセフ・ラブウォーク協議会」は昭和58年(1983)に発足しました。

<問い合わせ先>

岩手県ユニセフ協会(日本ユニセフ協会協定地域組織) 電話:019-687-4460